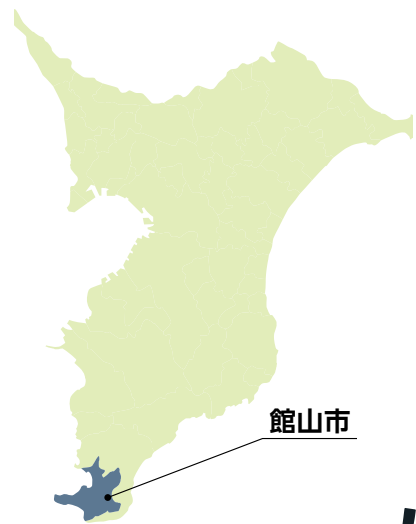


千葉県・館山市 たてやま



姉妹都市提携を締結

千葉県館山市と丹波篠山市の交流の始まりは、今から128年前の明治31（1898）年の夏にさかのぼります。当時、旧制第一高等学校（現東京大学教養学部）の学生たちが、館山市の旅館を拠点に水泳合宿を行った際、篠山出身の若者たちが唄っていた古里の盆踊り唄を気に入り、その後、学生寮歌となりました。このとき歌われた郷土の盆踊り唄こそが、後の「デカンショ節」で、学生たちを介して全国に知れ渡るようになります。

このご縁をきっかけに、昭和53（1978）年に両地域の観光協会が姉妹都市を締結し、交流を続けてきました。その後、東日本大震災を契機に災害時の相互応援協定を締結したほか、

か、マラソン大会への選手派遣、地域イベントへの参加、特産物の学校給食への提供など、さまざまな分野で交流を深めてきました。

そして、「デカンショ節」がつかないだ絆をさらに強くしようと、8月16日に篠山城大書院で、館山市との姉妹都市提携の調印式を行いました。当日は千葉県内の豪雨の影響で、森正一市長や鈴木正一市議会議長らは災害対応のため出席はかきませんでしたが、式典はオンライン形式で実施され、丹波篠山市からは酒井隆明市長と上田英樹市議会議長などが出席しました。

式典では、両市の市長と市議会議長が締結書に署名し、記念品を交換。森市長は、「歴史的な日を迎えて大変うれしく思います。本日の締結はゴールではありません。これから50年、

100年に向けた新たな友情のスタートです」とあいさつ。締結後には、デカンショ節保存会のメンバーが歌と踊りを披露し、両市の新たな門出を祝いました。



新たな姉妹都市 千葉県館山市を知ろう！

千葉県館山市

人口／41,672人(R8.7月)
面積／110.05km²
海岸線の長さ／34.3km
イメージフラワー／ポピー、菜の花、ストック、ひまわり、ハマヒルガオ、コスモス、チューリップ
市の木／椿
丹波篠山からの距離／約600km



マスコットキャラクター「ダッペエ」

©studio crocodile・館山市

千葉県館山市は、千葉県南部に位置し、一年を通じて温暖な気候に恵まれた「花と海のまち」です。三方を海に囲まれ、長い海岸線を有し、海水浴やシュノーケリングのほか、スキューバダイビング、サーフィンなどのマリンスポーツを楽しめます。

また、中世には戦国武将・里見氏がこの地を治め、曲亭馬琴の『南総里見八犬伝』の舞台となったことから、現在も里見氏の史跡や八犬伝ゆかりの場所が数多く残されています。館山城や崖観音などの名所や、それぞれの地域で受け継がれてきた多彩な祭りなど、豊かな歴史と文化も魅力です。

さらに、温暖な気候を生かした農業も盛んで、レタスをはじめとする農産物が生産されています。新鮮な魚介類を使った海鮮丼や、なめろう※1)、さんが焼き※2)などの郷土料理も楽しむことができる、自然、歴史、文化、食の魅力にあふれたまちです。

※1)生のアジをきざんだものに味噌と薬味を入れて粘りが出るまでたたいたもの
※2)「なめろう」を焼いた魚料理



Sup(サップ)



館山城



崖観音



128年前、千葉県館山市の一軒の旅館で生まれた、若者たちの出会い。その小さな縁が時代を越えて受け継がれ、8月16日、千葉県館山市と丹波篠山市は「姉妹都市提携」を締結しました。丹波篠山市が国内で姉妹都市提携を締結するのは、愛知県犬山市、愛媛県愛南町に続き、3都市目となります。

問い合わせ 商工観光課 ☎552-6907



館山炙り海鮮丼

館山市との交流の歴史

1898年	1978年	2011年	2012年	2013年	2021年	2024年	2025年	2026年
「デカンショ節」を旧制第一高の学生が館山市で歌う	両市の観光協会が姉妹都市提携締結	「災害応急対策活動の相互応援協定」の締結	観光まつりへの相互招待	「館山若潮マラソン」「丹波篠山ABCマラソン」での相互選手派遣が開始	千葉ロッテマリーンズ主催冠協賛試合「丹波篠山黒豆ナイター」での職員交流が開始	学校給食での食材交流事業開始	両市の特産品を活用した物産交流開始。道の駅グリーンファーム館山で、丹波篠山黒枝豆、黒豆パン、甘納豆、黒豆おかき、黒豆せんべいなどを販売	姉妹都市提携締結

夏に挑む！ -2026-

この夏、全国大会や近畿大会において、市内の高校生、中学生たちが熱い戦いを繰り広げました。

大会結果

近畿中学校総合体育大会

1回戦 ○9-2 木津南中(京都)
2回戦 ○9-0 上富田中(和歌山)
準決勝 ●0-15 岸城中(大阪)

全国中学校体育大会

1回戦 ●1-4 平賀東・平賀西・尾上中(青森)

INTERVIEW

結果は悔しいですが、最後まで自分たちらしく戦い抜くことができました。苦しい場面でも全力でプレーできたことは、このチームの強さだと思います。最後まで力を出し切れたので、悔いはありません。



園田美羽主将



8月7日から8日まで大阪市で開催された「近畿中学校総合体育大会」に出場した地域クラブ「丹波篠山SOFTBALL CLUB」。大会では、1、2回戦とともに大差で勝ち上がりました。準決勝では、昨年度全国準優勝チームの岸城中学校と対戦。3回コールドで敗れたものの3位に入り、チーム初となる全国大会への切符を手に入れました。

全国大会は8月21日から24日まで岡山県倉敷市で開催され、全国から28チームが参加しました。初戦は、全国大会の常連校である平賀東・平賀西・尾上中学校の連合チーム(青森県)と対戦。丹波篠山チームは、序盤から再三のチャンスを作るも、あと一本が出ず無得点に終わりました。守備では、先発の植野選手が粘り強い投球を続け、6回を4失点に抑える好投を見せました。最終回には、吉住選手の四球を足掛かりに、成本選手のショートゴロが悪送球を誘い1点を返しましたが、反撃もここまで。1対4で敗れ、初の全国大会は初戦敗退となりました。

竹内健治監督は「選手たちは全国の舞台でも失敗を恐れず、最後まで挑戦する姿を見せてくれました。全国大会を楽しみながら、自分自身に挑戦できた試合だったと思います」と、選手たちの健闘をたたえました。



全国の舞台で熱戦

丹波篠山 SOFTBALL CLUB

- 後列(左から) 竹内健治監督、重久ななみ(今田中1年)、山内柑奈(篠山東中1年)、山名莉乃(西紀中2年)、細谷暁(氷上中3年)、植野陽万里(丹南中3年)、成木未愛(丹南中2年)、信夫いろは(篠山東中1年)、樽原依千瑠(篠山東中1年)、久下貴久コーチ
- 前列(左から) 松本理佐(丹南中3年)、木戸口愛菜(氷上中3年)、吉住結菜(氷上中3年)、園田美羽(丹南中3年)、岩谷菜緒(氷上中3年)、芦田彩音(氷上中3年)、波々伯部利音(丹南中3年)【敬称略】

【部員募集中】ソフトボールに興味のある人は、ぜひ一度見学・体験にお越しください。
申し込み・問い合わせ 丹波篠山SOFTBALLCLUB・久下貴久代表 ☎090-8218-0365



JOC ジュニアオリンピックカップ 第56回全日本中学生サッカー選手権大会

全国の舞台で躍動！ HEARTS がベスト8

HC HYOGO HEARTS 中学男子チーム

- 後列(左から) 岸田瑛大(丹南中3年)、小菅春音(丹南中3年)、古杉環己(丹南中3年)、河口蒼生(丹南中3年)、中野丈一郎(篠山中3年)、西村善治郎(丹南中3年)、酒井大翔(丹南中3年)
- 前列(左から) 井上煌基(丹南中3年)、中西春飛(丹南中3年)、弘田湊(丹南中3年)、内田修平(篠山中3年)、山尾進之祐(丹南中3年)、西村稔(篠山東中2年)、木村一折(丹南中2年)【敬称略】

8月14日から17日まで、岡山市で開催された「第56回全日本中学生サッカー選手権大会」に、HC HYOGO HEARTS 中学男子チームが出場しました。チームは、近畿大会で3年連続の優勝を果たし、近畿代表として全国大会に挑みました。

全国から24チームが参加する中、予選リーグでは、八頭中学校、岩手U-15サッカークラブに連勝し、1位で決勝トーナメントへ進出。決勝トーナメント1回戦では、TOKAI FHC U-15(茨城県)に4対1と快勝。続く、準々決勝は奈良県郡山南中学校と対戦しました。最終盤に先制を許しましたが、試合終了間際に追いつき1対1でSO戦(サッカーでいうPK戦)へ。しかし、惜しくも敗れ、3年連続のベスト4進出はなりません。大会後には、優秀選手が発表され、岸田瑛大選手が優秀選手に選出されました。

指導する岡花宏明監督は、「前回王者としての重圧もありましたが、古杉主将を中心に、それぞれの個性を引き出し合ってくれました。最後まで目標に向かって戦う姿が印象的でした。これから培った力やつながりを、今後に生かしてほしいです」と振り返りました。

大会結果

全日本中学生サッカー選手権大会

《予選リーグ》

1試合目 ○2-1 八頭中(鳥取)
2試合目 ○5-2 岩手U-15(岩手)

《決勝トーナメント》

1回戦 ○4-1 TOKAI FHC U-15(茨城)
準々決勝 ●1-1 郡山南中(奈良)
(SO1-2)

INTERVIEW

ベスト8という結果でしたが、これまでの経験を今後に生かしていきたいです。10月には都道府県対抗大会があるので、兵庫県代表として優勝をめざします。



古杉環己主将



秋を楽しむ！

丹波篠山の

イベントの内容については、予告なく変更となる場合があります。また、気象状況などによってはやむを得ず中止する場合があります。

第30回

味覚フェア楽市楽座



日時 10月11日(日)9:30～14:30

場所 草山温泉やまのりの湯駐車場内

黒大豆枝豆や丹波栗などの地域の特産をはじめ、名物にしき鍋(しし汁)も出店。各種イベントを開催。

味覚フェア楽市楽座実行委員会 ☎090-4234-7599

第38回

丹波たんなん味覚まつり



日時 10月17日(土)10:00～15:30

場所 四季の森生涯学習センター駐車場

丹南地区ならではの特産物や「農都」丹波篠山の旬の農産物を販売。各種イベントを開催。

丹波たんなん味覚まつり実行委員会 ☎594-1131

第23回

城東味まつり



日時 10月18日(日)10:00～16:00

場所 城東公民館周辺

黒豆の元祖「波部黒大豆」発祥の地。黒枝豆や農産物、栗ポン、しし汁、黒豆コロッケなどを販売。ビンゴゲームもあります。

城東味まつり実行委員会 ☎556-3111

うまいぜグッお酒まつり



日時 10月10日(土)10:00～14:00

場所 丹波杜氏酒造記念館

きき酒コーナー(5枚組チケットぐい飲み1個つき=500円)、丹波流酒造り唄の披露、昔の酒造り道具の展示など。酒造り職人とお話ができます。

丹波杜氏組合 ☎552-0003(月・水・金)

城下町地区 交通規制のお知らせ

秋季の城下町地区における観光客の増加を受けて、歩行者の安全確保のため車両通行止めを行います。

期間

①・② 10月10日(土)・11日(日)・12日(月・祝)・17日(土)・18日(日)・24日(土)・25日(日)

③のみ

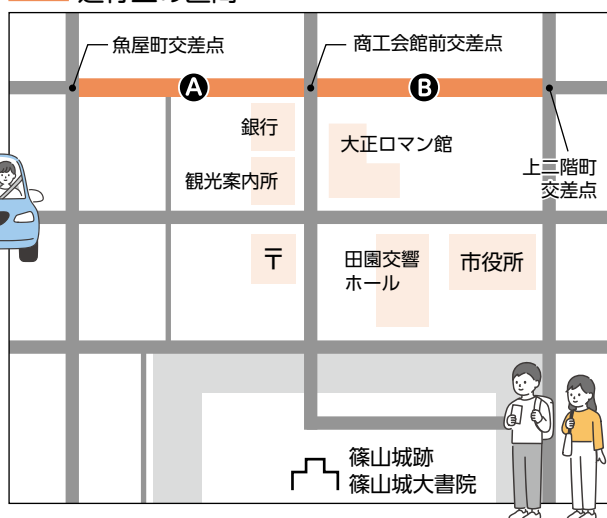
10月31日(土)、11月1日(日)

時間 10:00～16:00

※17日(土)・18日(日)は春日神社秋祭りのため、交通規制の区間・時間が異なりますのでご注意ください。



通行止め区間



訂正して、お詫びします

9月号の「未来につなぐ私たちの農村」の記事で北沢田自治会の「堀毛忠義副自治会長」とあるのは「堀家忠義副自治会長」の誤りでした。

夏に挑む！ -2026-

谷哲一さん(篠山東中3年)が、7月に行われた県総体陸上競技の男子砲丸投げで、13m40cmの自己ベストを記録。標準記録を突破し、8月20日から23日まで山口県で開催された全日本中学校陸上競技選手権大会への出場を決めました。全国大会では、3回の投てきですべて13m台を記録。最後の一投で「すべてを出し切ろう」と投げると、いろいろな動きがうまくかみ合い、13m80cmの自己ベストを更新しました。「目標の14mに届かなかったけど、ベストが出せてうれしいです」と笑顔で話します。この1年間で自己記録を1m30cm伸ばした谷さん。次の目標は、9月26日、27日に行われる県選手権大会で、さらなる記録更新をめざします。顧問の岩瀬章太さんは、「記録や勝敗にとらわれず、周りの選手と一緒に競技を楽しむ姿勢が谷さんの強みです。これからも、さらに上をめざしてほしい」とエールを送りました。



篠山東中3年 谷哲一さん



丹南中3年(HC HYOGO HEARTS所属)

岸田瑛大さん(左)

篠山中3年(HC HYOGO HEARTS所属)

内田修平さん

市内を拠点に活動するホッケーチーム「HC HYOGO HEARTS」に所属する内田修平さん(篠山中3年)と岸田瑛大さん(丹南中3年)が、U-15ジュニアユースホッケー日本代表選手18人に選出されました。2人は8月21日から29日までオランダ遠征に参加します。遠征では、現地のチームと親善試合を行ったり、開催中のワールドカップを観戦したりするなど、世界トップレベルのプレーを間近で学びます。

内田さんは「外国の選手の考え方を学び、パスがどれだけ通るのか確かめたい。オランダで学んだことを生かして、パスの精度を上げ、世界で活躍できるMFになりたい」とにっこり。岸田さんは、「世界の選手の動きを学び、練習試合に生かしたい。これからU-18、U-21と上の世代に進み、世代ナンバーワンのFWになりたい」とその思いを語りました。

8月8日から9日まで、青森県で開催された「国民スポーツ大会一青の煌めきあおもり国スポ2026」の武術太極拳競技会。篠山鳳鳴高校3年の丸山響生さんが、「国際第一套路長拳(少年男子)の部で準優勝に輝きました。

長拳は武器をもたない徒手の中国武術で、大会には18人(中学3年生～高校3年生)が出場。約90秒間の演武で、技の正確さやスピード、表現力を競いました。高校最後の大会に向け、演武の形や動きを見直し、基礎を固めることを意識して練習されてきた丸山さん。本番では、冒頭の跳躍後にバランスを崩したものの持ち直し、最後まで落ち着いて演武。「2位は悔しいですが、力を出し切ることができ、よい締めくくりになりました」と振り返ります。現在、所属するバレーボール部も引退し、受験勉強と両立しながら週2、3回の練習を継続。「今後も競技を継続しながら、次の目標に向かって頑張っていきたい」と新たな目標に向けた決意を語りました。



篠山鳳鳴高3年 丸山響生さん

青の煌めきあおもり国スポ2026

「武術太極拳競技会」長拳部門で準優勝